

教団新報

定価 1部220円(本体200円+共283円)
 予約購読料 1年分 千円 3,962円
 紙代のみ 3,080円
 振替 00140-9-145275
 本紙を購読ご希望の方は、前金を
 そえて、お近くのキリスト教書店
 へお申し込み下さい。
 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
 169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
 日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
 FAX03(3207)3918
 URL http://uccj.org
 発行人 網中彰子
 編集主筆 嶋田恵悟
 印刷所 株式会社きかんし



秋田桜教会 (奥羽教区)

そこで、主に結ばれて囚人となつてゐるわたしはあなたがたに勧めます。神から招かれたのですから、その招きにふさわしく歩み、一切高ぶることなく、柔和で、寛容の心を持ちなさい。愛をもって互いに忍耐し、平和のきずなで結ばれて、霊による一致を保つように努めなさい。体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれてゐるのと同じです。主は一人、信仰は一つ、洗礼は一つ、すべてのものの父である神は唯一であり、すべてのものを通して働き、すべてのものの中におられます。

(エフェソの信徒への手紙 4・1～6)

エフェソの信徒への手紙4章1節からのみ言葉では、神さまからの「招きにふさわしく歩み」、「高ぶることなく」、「柔和で、寛容の心を持ち」、「愛をもって互いに忍耐し」、「平和のきずなで結ばれ」ることが勧められています。

その一つひとつの言葉が言い表していることはよく理解できるもので、紙4章1節からのみ言葉が、それらを実践するということになると、大変困難なものであるという

私たちが、日本基督教団信仰告白によって「教会は主キリストの体」であり、神さまの「恵みによって召された者の集ひ」と告白して、この召しは、牧師職への召しということに限らず、すべてのキリスト者に対して神さまの召しがあるということを示しています。

教会は神さまの召しによる召命共同体であり、祝福を祈ります。
(秋田桜教会牧師)

そのような教会の存続・存続の危機は、教会外から突き付けられる

一致を保つように

そのような教会の存続・存続の危機は、教会外から突き付けられる

源泉に立ち帰る

よって新たに始まるので切なことは、信仰の源泉である主イエス・キリストに立ち帰ることです。

招きにふさわしく

その召しに答える召命

主の年2024年の歩みの始まりと同時に能登半島地震が発生しました

課題に向き合いつつ

主の年2024年の歩みの始まりと同時に能登半島地震が発生しました

被災地域にある諸教会とそれらの教会に連なる信徒の方々に主のお支えをお祈りいたします。

警戒はなお続いていますが、ウクライナでの戦争とカザフスタンにおける激しい戦闘が続いており、私たちは主の平和の実現を祈り続けています。

このような課題に向き合いながら、私たちは主なる神さまを信頼し、主のお導きを祈ることへと導かれ、教会の存在意義を確認する日々を過ごしております。

その意味で、私たちはすでに与えられている一致にくり返し立ち帰ることが必要です。この人とそれが違う、あの人とそれが異なる...といった議論に留まっているのではなく、霊による一致に立ち帰って共に歩むということなのです。

そして、源泉に立ち帰る時、「その人の内から生きた水が川となって流れ出る」(ヨハネ7:38)のです。それがキリスト者の日々の歩みにおいて明らかにされる信仰の証しであり、伝道です。

春新メッセージ

一つの霊によつて

エフェソの信徒への手紙4章1～6節



雲然俊美

の問題が表面化する中で、「宗教」に対して社会の厳しい目が向けられています。そして全国の教会・伝道所においては、少子高齢化の中で、教会存続・存続の危機的状況に直面しております。

指しましょう」ということででもないのです。私たちは聖霊によって一つであるのだということです。だからその一致を「保つように努めなさい」と言われているのです。

であり、キリストの福音です。教会は、一つの霊が「分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった」(使徒2:3)ことによつてこの世に誕生しました。教会は(キリストの体なる全体教会である日本基督教団も)、霊による一致のもと、霊の導き、交わりによって立ち、歩むのです。

クリスマスを喜ぶ賛美によって

台湾基督長老教會「台湾」

近隣の教会や近所の方々と一緒に

能登半島地震被災地の健康と安全、復旧を台湾の方々と祈りを合わせてお祈りします。

台北の私たちの教会にも富山や新潟、金沢ご出身の方も数名おられ、被災地の生の声も耳にしています。

基督長老教會の近隣6教会連合でSOGOデパート前でクリスマス音楽会を開催しました。

各教会から讚美やサックス、ウクレレ、リードオルガン等の演奏、小学校吹奏楽部演奏や讚美体操、等が披露されました。

台湾では政府に申請し、許可、補助を受けて教会等で高齢者デイケア活動が行われています。ウクレレ教室もその一つで地域のデイケア参加者と教会聖歌隊合同での今回のクリスマス音楽会出演でした。

付がされたもので、台湾讚美協同会も設立され、毎朝各地の公園等で、鮮やかなデザインの揃いの「活動があり、そのご出演しました。

私たちは国際日本語教会からは教会合唱団と教会で練習されている地域の合唱団(多くは日本人女性)合同でクリスマス讚美歌メドレーを讚美し、この2つの合唱団指導・指揮者である声楽家足立育子さんのソプラノソロで出演しました。

また同時に、この近隣の6つの台湾基督長老教會連合で、近所の高島屋とSOGOデパートでクリスマス・カード数枚を2週間展示して頂きました。教会学校や教会内外関係者で描いたり装飾したお手製カード。

昨年イースターには装飾した数百個のプラスチックの卵を同様に近隣の三越、SOGOデパートが展示くださいました。参加した子どもたちもご家族も大喜び。楽しくイースターの意味をお伝えしました。

近隣教会や地域の方々と一緒にお祝いできた恵みに感謝。

戦時下、被災地にこそインマヌエル。(うすきどり報)

富山市民クリスマス「富山」

「本物のクリスマスをあなたに」

「本物のクリスマスをあなたに」と、31回富山市民クリスマスが12月2日、富山国際会議場ホールで行われた。

約200人の富山市民

1991年、「平和を願う本物のクリスマスを富山市民に伝えること」を目的に始まった。富山市内の日本キリスト教団の3教会(富山鹿島町教会と富山新庄教会、富山二番町教会)、聖公会、パプテスト連盟、カトリック教会と富山YMCAが実行委員会を組織して、各教会が持ち回りで実行委員長と練習会場を提供している。

当初は、教員有志の聖歌隊による賛美と聖書朗読、県内の音楽家によるクリスマスソング、寸劇などを行ってきた。そのような中で、回を重ねるごとにクリスマス喜びを伝える内容にしたいとの声が強まっていく。そうして、メサイアを演奏すること、特

に英語ではなく日本語で演奏することとなり、1997年の第7回市民クリスマスから、第一部を礼拝、第二部を日本語メサイア演奏という形が定着し今日に至っている。

私は2021年に富山二番町教会に赴任し、コロナ禍で2年間の休会を経て3年ぶりに開催された富山市民クリスマスに2022年から実行委員長、聖歌隊員として参加している。

私自身は、学生時代にメサイアを歌ったことがあるが、それは、英語のメサイアで日本語のメサイアを歌う経験はなかった。もともと、英語の歌詞にメロディがつけられたことを考えると日本語の歌詞で歌うことは想像

以上にハードルは高かった。しかし、歌詞もこれまでの木岡栄三郎訳をそのまま歌うのではなく、初めて聴く人にも歌詞が分かるように、オリジナルの歌詞となっている部分が多い。たとえば、「And the glory of the Lord」は木岡訳では「主エホバのみいづは」だが、富山オリジナルでは「見よ神の栄光は」という具合に、格調の高さを求めるのではなく、キリストの生涯と福音を聴く人に伝えることを、何よりも優先したものがとなっている。

プロのソリストを立て、諸教会の教員が聖歌隊に参加し、富山市内の年末の風物詩となっている。この富山市民クリスマスで、初めて礼拝とメサイアで福音に触れた人が、一人でも多く教会に連なることを願っている。

(勇 文人報)



デパートの前でクリスマス音楽会
クリスマス・カードを展示



讚美体操はある長老教員会の考案で、讚美歌に合わせてダンス体操の振



日本語のメサイアを歌う

能登半島地震で被災なされた皆さまのお体を守られ、大切な存在とかけがえないものを失った方々の悲しみが癒されまじようお祈りいたします。

教団は1日に救援対策委員会を設置し、2日に雲然俊美議長が緊急役員会を開きました。社会委員会が募金を開始し、教団ホームページに情報を掲載しています。海外諸教会からも祈りとメッセージと献金が届いています。今後も中部教区の要請に応じて支援していきます。

被雷状況は中部教区のホームページより一部を

中部教区では、原則的に教区が定めた災害マニュアルに従って対応を進めています。被災地への連絡等は控えて、被災された方々への配慮をお願いしています。能登半島へ向かう道路は、所々

で寸断され、金沢から輪島まで、通常2時間かかったのが10時間かかったという情報があります。震度5強程度の余震も続いています。現時点で現地へ行くことは緊急車両や災害救助の妨げともなるので、お控えください。

七尾、羽咋、恵泉のいずれの教会も電気は通っていませんが断水が続いています。七尾、恵泉は敷地内に井戸水があり、それをトイレなどに使っているとのこと。

《7日(日) 主日》
「朝10時半から、避難所の廊下で輪島教会の新藤豪牧師他教員2名、聖書教会の方1名あわせて4名で詩編46編2〜4節を読み共に祈りを合わせ、主の祈り、頌栄をアカペラで歌いました」

「七尾教会の主日礼拝出席者は7名。礼拝堂にて礼拝を守り、聖餐式も守ることが出来ました。感謝でした。その後開かれた長老会でも祈りを合わせました」。

教団が行う人道的支援については様々な可能性を探りつつ検討中です。例えば北陸学院と共に子どもの支援プログラムを計画するなど、提案、意見が交わされています。具体的な企画と実行はまだ先となります。今しばらく教会再建と被災者の皆さまの心と体が守られますよう祈りと献金を力を注いでまいります。

(網中彰子報)

七尾教会は外壁の亀裂や内壁の剥がれ、落下、亀裂があり隣接する幼稚園も同様です。周辺の民家の皆さまの家の状態が悪く、避難所もいっぱいのため、七尾幼稚園が臨時の避難所となっています。実質的には教会の礼拝堂も避難所になっており約100人の方が宿泊しています。施設の特徴から高齢の方、お身体のご不自由な方の避難所として割り当てられています。職員室、園長室、牧師館は中が大変なことになっていますが、避難所の機能を維持するために、そちらを優先していません。地域の方が中心になって避難所機能を維持してください。

《3日》
中部教区では、原則的に教区が定めた災害マニュアルに従って対応を進めています。被災地への連絡等は控えて、被災された方々への配慮をお願いしています。能登半島へ向かう道路は、所々

能登半島地震で被災なされた皆さまのお体を守られ、大切な存在とかけがえないものを失った方々の悲しみが癒されまじようお祈りいたします。

教団は1日に救援対策委員会を設置し、2日に雲然俊美議長が緊急役員会を開きました。社会委員会が募金を開始し、教団ホームページに情報を掲載しています。海外諸教会からも祈りとメッセージと献金が届いています。今後も中部教区の要請に応じて支援していきます。

被雷状況は中部教区のホームページより一部を

島へ向かう道路は、所々

能登半島地震報告

祈りと献金をもって支援を

時系列で記します。
《1日〜2日》
輪島教会は近隣の道路がひび割れ、会堂の一部が倒壊、牧師館の隣の家が倒壊し、壁に穴が開いています。
富来伝道所は立っていないので、お控えください。
七尾、羽咋、恵泉のいずれの教会も電気は通っていませんが断水が続いています。七尾、恵泉は敷地内に井戸水があり、それをトイレなどに使っているとのこと。

《7日(日) 主日》
「朝10時半から、避難所の廊下で輪島教会の新藤豪牧師他教員2名、聖書教会の方1名あわせて4名で詩編46編2〜4節を読み共に祈りを合わせ、主の祈り、頌栄をアカペラで歌いました」

「七尾教会の主日礼拝出席者は7名。礼拝堂にて礼拝を守り、聖餐式も守ることが出来ました。感謝でした。その後開かれた長老会でも祈りを合わせました」。

教団が行う人道的支援については様々な可能性を探りつつ検討中です。例えば北陸学院と共に子どもの支援プログラムを計画するなど、提案、意見が交わされています。具体的な企画と実行はまだ先となります。今しばらく教会再建と被災者の皆さまの心と体が守られますよう祈りと献金を力を注いでまいります。

(網中彰子報)

2・11メッセージ

イエスは言われた。「皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返さない。」(マルコ12・17)

安倍晋三元首相銃撃により、宗教と政治との関係が注目されている。シリーズ「問われる宗教とカルト」という番組で、憲法学者の駒村圭吾氏が、日本国憲法20条と24条に触れて次のように語っていた。「20条の信教の自由と政教分離は、国家神道的なある種の神権国家体制ともいえる決別するところであり、このことを最高裁は何度も強調し、国家神道に対する反省からこの条文は導入された」と繰り返している。他方婚姻における両性の平等を規定している24条は、かつての家長的な家族観、あるいは封建的な家族観と、袂を分かつたということも導入されている」と。さらに続けて「しかし、現実はこの二つの領域が常に先祖返りしようとする動きが必ずある」とのこと。政教分離が骨抜きにされている例として、安倍晋三元首相の国葬を挙げている。

このような考えを進めると、2月11日の建国記念の日を祝うことや、政治家の靖国神社参拝、国旗掲揚・国歌斉唱の強制も神権国家体制への回帰を目指しているものだと見える。建国記念の日は、神武天皇の即位の日と推定された日であり、戦前の紀元節の復活である。また、靖国神社は、明治維新以後の国家のために進んで命を捨てたとされる人々を祀っている。

こうした動きが、国家が過ちを犯して来たとしても、それを問うことをしない歪んだ愛国心を育てることにつながる。本来、日本国憲法を尊重しなければならぬ政治者たち(日本国憲法99条)が、神権国家体制を目指すのであれば、思想・信教の自由は大いに脅かされる。従って、日本基督教団が「建国記念の日」と制定されたこの日を「信教の自由を守る日」と定めて様々な集会を開くことには大きな意味がある。かつて戦争協力をしてしまった宗教団体が、権力に利用されないように声を上げることが、二度と戦争を繰り返さないという社会的責任の果たし方の一つではないだろうか。

主イエスは、ご自分を隔れようとする人々に「皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返さない」と答えられたが、少し考えれば、皇帝のもので神のものでないものは何一つない。すべての領域が神のものであるからこそ、政治が宗教を利用しようとするにも、宗教が政治を利用しようとするにも、異を唱えざるを得ない。このようにして、神のみが神とされる世界を私たちは待ち望むのである。

2024年1月27日

第42総会期日本基督教団 社会委員長 柳谷知之

事務局報

森野善石(門) (隠退教師)



23年7月31日逝去、94歳。滋賀県生まれ。57年東京神学大学院院修了。同年より信濃町、若草教会を牧会し、東北学院大学に務め、関東教区巡回教師を経て17年隠退。遺族は息・森野直樹さん。



渡辺敏雄 (隠退教師)

23年11月2日逝去、74歳。愛知県生まれ。79年同志社大学大学院修了。同年より神戸、泉北ニュータウン教会を牧会し、15年隠退。遺族は妻・渡辺のゆりさん。



尾崎マリ子 (隠退教師)

23年12月1日逝去、93歳。大阪府生まれ。88年東京神学大学院院修了。同年より井草、久我山教会を牧会し、08年隠退。遺族は息・尾崎令さん。

歳。山形県生まれ。64年日本聖書神学校卒業。65年より68年まで山辺伝道所を牧会。遺族は姪・後藤つ子さん。



志垣 暹 (隠退教師)

23年12月2日逝去、93歳。韓国・鎮海生まれ。60年日本聖書神学校卒業。同年より岩村田、角田教会を牧会し、98年隠退。遺族は妻・志垣たけ子さん。



東島勇気 (隠退教師)

23年12月18日逝去、80歳。ハルビン生まれ。69年関西学院大学院院修了。同年より広島流川、神和、福岡中部、門司大里、宇和島中町教会を牧会し、22年隠退。遺族は妻・東島幸子さん。



安村喜行 (隠退教師)

23年12月20日逝去、94歳。山口県生まれ。53年日本基督教神学専門学校卒業。同年より別府野口、玉島、福山延広教会を牧会し、西中国教区に務め、登美丘教会を経て、05年隠退。遺族は息・安村真さん。



上=輪島教会礼拝堂内 下=羽咋白百合幼稚園園庭

能登半島地震緊急救援募金のお願い

御名を讃美いたします。1月1日16時10分頃に、能登半島を中心に、マグニチュード7.6、最大震度7の地震が発生いたしました。中部教区の教会を中心に、能登半島地域を中心に、多くの被害が報告されています。ただちに募金を開始し、受け入れます。祈りをもってご協力をいただきますようお願い申し上げます。

2024年1月2日

日本基督教団社会委員長 柳谷知之

◎送金先 加入者名 日本基督教団社会委員会 郵便振替 00150-2-593699 ※通信欄に「能登半島地震緊急救援募金」とお書きください。※献金用途にご指定がある場合は、通信欄に下記のようにご記入ください。「人道的支援のため」「教会等再建支援のため」 日本基督教団社会委員会 (電話 03-3202-0544)

教区議長コラム

◆ 沖縄教区 ◆

具志堅 篤

去る1月7日・8日、高原教会を会場に年頭修養会が実に4年ぶりに対面開催された。自粛しても萎縮するな!

と言いつつ聞かせながら、小さな教会の中で延べ人数47名の参加者には励まされた。が、これは修養会の報告ではない。

開会礼拝において川崎正志牧師は「このりたちは」(こ

讃美に臨在される主

に歌い、カホンを叩きリズムを取りながら「てんにいますわたしたちのちち」(主の祈り)を祈った。

二日目の午後に「讃美を共に」27歳の青年信徒・玉城遼太郎さん(兼次伝道所)によ

どもさんびか)をなぞるようにして小さき者に注がれる神の慈しみを語った。私自身何かお手伝い出来ることかあれば、讃美のリードを引き受けギター伴奏で「誰もみたくのなないことが」を会衆と共に

と告げられ僅か1200gの小さな体で手術を受けた。神から与えられた命への感謝

聴く者たちに込み上げてくる感動は単なる感動ではなかった。それは神の臨在に触れる瞬間だった。その時、会衆の心は「イスラエルのさんびの上に座しておられる主」(詩編22・3)に向かっていた。私は思った。常に命を与えてくださる主に向かつて礼拝を捧げる者であり続けたいと。栄光在主 (沖縄教区副議長)

繪嶋 彰 (隠退教師)



23年6月13日逝去、90歳。東京都生まれ。97年東京聖書学校卒業。00年より14年まで上三川教会を牧会し、18年隠退。遺族は妻・繪嶋アツエさん。



佐々木睦子 (無任所教師)

23年6月14日逝去、82歳。青森県生まれ。03年農村伝道神学校卒業。同年より矢板教会、那須塩

原伝道所を12年まで牧会。遺族は娘・畑育子さん。

森美由紀

伝道所廃止

明石愛老園

お詫び・訂正

新報5009・10号3面「事務局報」欄、「横浜訓文学院」を「横浜訓盲学院」に、お詫びして訂正いたします。

新報5011・12号

2面「宣教師人事・支援委員会」本文中、「12月22日」を「11月22日」に、3面「事務局報」欄、「那

尾道吉和(代)鎌野 真

遠野 (就代)柳谷雄介

明石愛老園

辞(代)兼松千佳子

します。



伝道報告

七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。『イエスは言われた。『あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。』ルカによる福音書第10章17節～20節

伝道推進室より応援した教会・伝道所

主は小さな群れを顧みてくださる

宇都宮東伝道所牧師 森田 泰司

況が続きました。しかし、1985年によくやく近隣教会からの同意を得て、日本基督教団認可伝道所としての歩みを始めました。印南真人牧師が学習塾をされていた場所を伝道所としたことで、子どもや青年が集う伝道所でした。これからの伝道発展に大いに期待が寄せられていました。1989年に印南真人牧師が健康上の理由により、突然辞任されました。後任は、宇都宮教会の益守栄牧師が兼牧を引き受けてくださいました。一方、礼拝を行う場所は、宇都宮教会の会堂や他の事務所等を転々としつつ礼拝を続けました。1994年に現在の場所にあつた中古住宅を購入し、改築することで会堂を得ることができました。会堂建築費用の多くは、信徒の方々の多大な献金によるもので、建築資金を返済することができました。その後、高崎隆牧師、山ノ下恭二牧師による代務、新淵千枝子主任担任教師と教師が交代しましたが、2007年から益守栄牧師が主任担任教師として着任し、伝道が続きました。2014年には宇都宮教会の木村太郎牧師が1年間代務をされた後、森田泰司伝道師が主任担任教師として招聘されました。

守栄牧師が主任担任教師として着任し、伝道が続きました。2014年には宇都宮教会の木村太郎牧師が1年間代務をされた後、森田泰司伝道師が主任担任教師として招聘されました。宇都宮東伝道所の伝道は、3年間継続する宣教基本方針を決め、年主題、主題聖句を選び、各年毎に宣教実施目標を決めて行っています。信徒の方々が、み言葉に聞き、祈る教会として成長できるように礼拝の形を整えました。週報には、礼拝の聖書箇所から心に留めるみ言葉を取り上げて、短い奨励を記して、教会員の信仰の成長を図っています。教会の中だけではなく、「信徒の友」で紹介された全国にある小さな教会・伝道所に向けて、祈祷会で祈りのハガキを書き、お送りしています。小さな伝道所でも出来る伝道を行い、いただいたハガキから伝道の励ましを受けて、この地での伝道が続いています。2018年には、2名の受洗者が与えられました。これは、他教会の信徒からの紹介でした。このことは、主の特別な恵みによるものだと感じています。現在の課題は、一人でも多くの求道者が与えられ、この地での伝道がこれからも続けられるように、伝道所を整えていくことです。イエスさまが弟子を集められた時、アンデレがペトロをイエスさまに紹介し、ペトロが弟子となっています(ヨハネ1章42節)。小さな教会、伝道所では、自らの力だけではできない、求道者の招きについて、多くの教会からの紹介による協力をぜひお願いいたします。

職員クリスマス礼拝

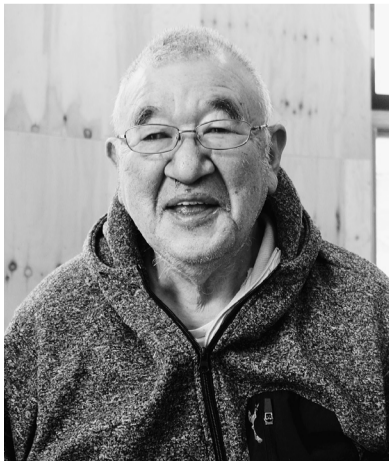
寄留民の霊性



12月18日、教団事務局で、教団3局と部落解放センターのスタッフ33名が集い、職員クリスマス礼拝が行われた。23年10月に、在日大韓基督教教会総幹事を退いた金柄鎬牧師が、出エジプト記2章16～22節から、「寄留民の霊性」と題して説教を語った。冒頭、カナダに移住した韓国人寄留者の生活を描いた映画「ライスポーイスリープス」、また、在日コリアンを描いた小説「パチンコ」を紹介した。外国で差別され辛い経験をしながら、祖国にも居場所を見出せないアイデンティティクライシスが描かれている。続けて、同胞を助けるべくエジプト人を殺害してミディアンに逃亡したモーセの姿に触れた。特にモーセが、同胞を助けようとしたことで逃亡を余儀なくされたにも拘らず、逃亡先でも出くわした人を助ける姿勢を持ち続けたこと、また、最初の子には、自らの境遇に対する恨み節を交えてゲルシヨム(寄留者)と名付けていたにも拘らず、次の子には、エリエセル(神はわたしの助け)と名付け、今までのことは神の救いであることを告白するようになったことには、「寄留民の霊性」があると述べた。更に、金牧師自身の歩みを振り返った。1986年に日本に来て浦和で宣教教師として歩み始めた頃、「韓国のイエスさま」(韓国の教会の形・神学的立場)を伝えようとしていたが、次に調布で任された際、在日コリアンの生活に接し、そこで目にした、「みずほイエスさま」に従って行く道を示されたと言った。また、牧師の隠退を控えた現在、ベトナム、ミャンマー、ネパール等から多くの人々が日本に来て、この地上に住んで留ることに触れ、寄留者として別の寄留者を助けなくてはならないとの思いが与えられていることを告げ、「私たちは皆、いずれ天国に行く寄留民。この地上に住んでいる間は、寄留民の霊性をもって人々に仕えて行きたい」と語った。(新報編集部報)



ひととき 早坂 潔さん



浦河教会員、社会福祉法人「浦河べてるの家」副理事長

能登半島地震で被災された皆さまを神さまが守り導いてくださるようお祈りいたします。1日午後4時24分に救援対策委員会を立ち上げました。2日に雲然俊美議長が緊急役員会を開催。社会委員会が募金を開始。教団ホームページに公開しました。4日10時に第1回救援対策委員会を開き、海外からの祈りのメール等に担当者から感謝の返信をしました。災害発生時は被災教会への連絡を控え、現地で対応する教職や信徒の方々への体調を最優先します。刻々と変わる状況の中で、昨日も今日もいつまでも祈り続けることは変わりません。協議の際、こどもたちの思いについて考える場面がありました。「元気を出しなさい」(使徒言行録27章25節)。私が人生で一番元気がない時に与えられた聖句です。当時は(そう言われても無理です。パウロ。ナニコレ)としか思いませんでした。暴風の船内での信仰に数年後力づけられました。時を待ちつつ祈り続けたいと願います。(教団総幹事 網中彰子)

早坂 潔さんは北海道の日の高の沿岸、襟裳岬まで1時間ほどにある浦河教会の信徒です。精神障がい等をかかえた当事者の地域活動拠点「浦河べてるの家」の受容的精神を代表するメンバーであることから「ミスターべてる」とも呼ばれています。牧師「今日は、熱心な信徒さんである潔さんにインタビューしたいと思えます。教会に求めたいのはいつ?」潔「様子の牧場で働いていた時、精神科に入退院を繰り返していたんだけど、その頃だ。札幌教会のFさんに教会に行ってみたらと誘われて浦河教会に通い始めた」牧師「で、どうだった?」牧師「今日は、熱心な信徒さんである潔さんにインタビューしたいと思えます。教会に求めたいのはいつ?」潔「様子の牧場で働いていた時、精神科に入退院を繰り返していたんだけど、その頃だ。札幌教会のFさんに教会に行ってみたらと誘われて浦河教会に通い始めた」牧師「で、どうだった?」

説教はむずかしくてもいいよ

「それまでは自分に自信がなくてよ。ひとの顔色を見ながら、おっかなびっくりで生活していたのが、そうでもなくなった。最初、落ち着かなくて礼拝中でも立ったり座ったり。牧師の宮島利光先生に怒鳴られた。でも、先生もつれあいの美智子さんも優しく、一緒にご飯食べたり、薪割りしたり。とうとう教会に住むことになった(1983年の4月、べてるの家が設立される1年前のことである)。ソーシャルワーカーの向谷地生良さんとは1981年頃、浦河日赤病院の廊下で初

めぐって会ったんだけど、結局、向谷地さんと一緒に浦河教会に住むことになった。そして、教会からべてるの家がはじまった」牧師「浦河教会は、どんな教会でありたいと思う?」潔「きちんと礼拝の説教を聞くことができる教会にしたいな」牧師「意外な答えだな」潔「説教が難しく、煙草を吸いに行く時があるけどな」牧師「説教が難しく、悪いな。申し訳ない」潔「いや、説教はむずかしくてもいいよ。おれたちは心で説教を聞いているんだから」